

## ものづくり展示コーナー企画・設営等委託業務仕様書

### 1 目的

佐賀県は、400年以上の歴史を誇る有田焼などの伝統産業や幕末に日本の近代化を高い技術力で支えるなど唯一無二のものづくりの歴史を有することに加え、自動車部品や半導体関連部品などの近代産業、専門性や独自性が高い分野でトップシェアを誇る数々の県内メーカーの存在など現代においても盛んにものづくりが行われている。そうした中、多くの県民や事業者、加えて社会科見学等授業の一環で多くの小学生が来場する本庁新館1階県民ホールに「ものづくり展示コーナー（SAGA MAKERS LIBRARY）」（以下「展示コーナー」という。）を設置し、佐賀が世界に誇る「ものづくり」の技術、製品及び企業の魅力をPRしてきた。

展示コーナーを活用して新たな展示を企画・設営し、来庁者が佐賀のものづくりを身近に感じ、興味を持ってもらう契機とする。

### 2 契約期間

契約の日から令和8年3月31日（火）までとする。

### 3 内容

- （1）場所 佐賀県庁新館1階 県民ホール南側 ※別添資料参照
- （2）内容 佐賀のものづくりの展示、発信
- （3）期間 設置完了後、常設の展示・見学スペースとして継続的に使用  
※基本的に開庁時間中は誰でも見学可とする。

### 4 委託業務の内容

展示の企画・設営等業務

#### （1）企画に関する業務

- ・佐賀のものづくりに関する展示物を企画、制作すること。
- ・展示物の中には、ものづくりに使用する道具の紹介を含めること。

#### （2）設営に関する業務

- ア）展示コーナーレイアウト図の作成
- イ）（1）で制作した展示物の設置等
- ウ）展示に係る装飾、説明パネル、出展品のキャプション等の製作、設置等

#### （3）その他、提案内容に関わる必要な業務全般

### 5 企画・設営に関する留意事項

- ・指定場所の範囲内で、別紙1の使用必須什器を使用して展示を行うこと。

- ・企画内容に応じ、別紙1 使用可能什器及びその他物品（展示ケースや展示机、場合によってはディスプレイ等）を使用することができる。但し、新たに調達が必要な場合は委託金額内で行うこと。
- ・企画内容に応じ、別紙2 で指定する「展示スペース」の範囲内において什器・物品等を移動することができる。

## 6 企画・提案の考え方

企画の内容は、来庁者が佐賀のものづくりを身近に感じ、興味を持ってもらう契機とするため、提案としては以下のようなものが望ましい。

- ・来庁者に「佐賀のものづくりって面白い、スゴい！」という印象を残すための提案。
- ・来庁者が佐賀のものづくりを身近に感じ、憧れを感じる瞬間を生み出せる提案。
- ・佐賀のものづくりに関する情報の集積、共有する場所＝LIBRARY を感じられる提案。
- ・行政の施設に捕われない自由な発想からの提案。
- ・見学者の増加や継続的な来訪を図る提案。

また、以下の点に留意して企画・提案を行うこと。

- ・体験型の展示を企画する場合、周囲の物品の破損や体験する者を含む周囲の人の安全を確保できる企画とすること。

## 7 予算額

1,450 千円以内（消費税及び地方消費税を含む）

## 8 委託料の支払い

完了払

## 9 特記事項

- ・本業務の実施に当たっては、佐賀県と十分に協議し、佐賀県の了解を得て行うこと。
  - ・天災地変その他、受託者の責めによらない事由によって開始時期を変更せざるを得ない場合は、受託者は賠償の義務を負わない。ただし、この場合においては、佐賀県と協議の上、決定すること。
  - ・企画・設営等には必要かつ適切な人員配置を行うこと。
  - ・本業務の実施にあたり関係機関との調整が必要な場合（申請・届出等含む）は、受託者によりこれを行うこと。
  - ・設備・資材・機材は、特に指示のない限り受託者が調達するものとし、その費用はすべて契約金額に含めるものとする。
  - ・受託者による会場の汚損及び損傷又は第三者への損害は、受託者が弁償又は賠償すること。
  - ・作品展示等を実施する際には、作品等に不具合が生じた場合、速やかに対応を行うこと。
- また、その場合の費用については、受託者側の負担とすること。

- ・業務の円滑な推進を図るため、事業の内容及び業務の進捗、懸案事項等について、随時県と受託者との協議連絡を行い決定すること。
- ・本業務の実施にあたり必要となる著作権の処理は、随時県と協議の上、適切に行うこと。
- ・受託者が本業務委託により新たに制作した制作物の著作権（著作権法第21条から第28条に定めるすべての権利を含む）は佐賀県に帰属するものとし、佐賀県は、これらの制作物（写真、イラスト、文章等）を無償で自由に二次利用できるものとするとともに、制作者は佐賀県に対して著作人格権を行使しないものとする。
- ・本業務において、第三者（本県及び受託業者以外の者）が所有する素材を用いる場合には、著作権処理等を受託者が適切に行い、情報発信の妨げとならないよう承諾を得ること。
- ・著作権・肖像権等の処理は、受託者が著作権者・肖像権者等の承諾を得て、予算内で処理すること。
- ・委託業務の完了後、請求書、完了報告書等の関係書類を提出すること。
- ・本仕様書に定めのない事項については、事前に佐賀県と協議の上、決定すること。